

アンケート回答まとめ（2022.04.30）

4月23日に開催した奈良支部主催の講演会への参加者は約40名（内、対面参加者は講師含め7名）、アンケート回答者は25名（対面参加 5名 オンライン参加 20名）でした。

以下はそのアンケート回答をまとめたものです。

1. 年代をお伺いします

50歳未満 2名 50歳代 1名 60歳代 8名 70歳代 7名 80歳代 7名

2. お住まいはどちらですか。

奈良県 11名 京都・大阪 5名 中・四国・九州 3名 東京・神奈川 6名

3. 大学女性協会会員ですか

正会員 15名 賛助会員 3名 会員ではない 7名

4. 今回の講演会をどのようにお知りになりましたか。

大学女性協会からのお知らせ 17名 佐保会奈良支部会員便りを見て 3名

奈良女子大メルマガ、HP やチラシを見て 5名

5. 講演の内容について

とても興味深かった 20名 やや興味深かった 3名 ふつう 2名

6. 内容の難易度はいかがでしたか

とても難しかった 1名 やや難しかった 3名 ふつう 16名

やや易しかった 3名 とても難しかった 1名

7. ズームによる参加についてお伺いします

映像の品質 非常によかった 4名 よかった 11名 ふつう 5名

音声の品質 非常によかった 1名 よかった 4名 ふつう 8名

あまりよくなかった 7名

8. 講演を聞いての意見や感想などがあればお書きください。

工学部の設置理由や必要性が分かったという意見が多く見られました。また、今後の活躍を期待する声や今後の動向を聴きたいという意見もありました。

* 女子大学における工学部の必要性がよく解りました。工学女子が増えることを期待します。

* 奈良女子大学が工学部を設置した理由、社会のニーズ等を知っていただくことができて良かったです。

* 奈良女子大に工学部を設置した意義が良く分かりました 恵まれた学生生活をおくられる新入生の皆さんに期待と応援をします。

* 奈良女子大学工学部が話題にのぼっている今工学科の学びの特徴、カリキュラム、入学者の選抜の仕方と詳しく知ることができ良かった。

* 奈良女子大学工学部開設について、詳細な説明を聞くことが出来て良かったです。これからを見守っていきたいと思います。

* 今年度に創設された工学部について、学生に対する藤田教授陣営の優しさ溢れるお話で、とても良くわかりました。

* 大変感激いたしました。工学部といえば出来上がってしまった「建築」とか「機械」を扱う分野という印象しかありませんでしたので女子大に何故？と思っていました。今日のお話を伺ってなるほど本来人間の生活に最も密接に関係する学問分野、生活環境学部のある奈良女子大にふさわしい学問分野ではないかと思いました。そしてカリキュラムが、学生50人に50様の選び方ができるという点に感銘しました。これは今までの大学の履修規定の欠点を見直すことにもつながり後進学部の利点？かもしれません。中高とまだ自分の行く手が定まらないうちから専門教科の選択をしていざというとき必要な科目を取っていなかった子と早くから行く手を目指して程度の高い教科を学んできた子との間に指導上のむずかしさがあると思います。それに気づかれておられることにも感じ入りました。

最後に教員構成に女性の比率が低いことに決してお気を使われませんように。よく何年までに何%とか言いますが男女を問わず有能な人が指導者になるべきで実力のない人間は駄目です。きっと奈良女子大学工学部の理念を体得した素晴らしい卒業生が活躍する時代が来ると信じています。

* 今後の社会にとってより必要となる話題と思う。

* 「女子大に工学部をつくって本当に学生が集まるのかと言われたが、受験者は予想をはるかに超えて多かった」と伺い、改めて、女子大の存在意義を感じました。工学部には機械や電気などのイメージがありましたが、「筋肉の工学は男性向きだが、脳の工学には男女が必要」というお話も納得です。50人の学生がいれば50通りのカリキュラムとのことですが、実際にどのように進められるのかのイメージが十分つかめませんでした。今後のさらなる発信を期待しています。

ちょっと残念だったことは、提示される資料の文字が小さくて読めなかったことです。お話される部分を拡大して読める形にしていただけたらよかったですと思いました。

* 奈良女子大学ならではの少人数制で、自由履修制、コーチングで自分の方向性を探りながら学べるのは、魅力的ですね。工学系で活躍する女性が増えることを願います。卒業生の活躍が楽しみです！

* 女子大の工学部に期待大です。まずは修士課程を設置し、中高の先生、研究者になる人材を育てることが急務だと思います。お茶大と並び、女子国立大学として、優れた研究者を育成することが求められていると思います。同時に社会に開かれた大学として、市民の生涯教育の場として、世代を超えて市民意識を高める公共の学習現場であってほしいと願います。

* Zoomで開催していただいたので、気軽に参加させていただきました。工学部設置について、もし次の機会がありましたら、学生がどのような勉強をするのか、具体的に詳しく知りたいと思いました。

* 女子大の工学部というのは大変関心があります。2年程度経過後に、また、お話を伺いたいと思いました。（なお、新設学部の第1回生というのは、大変開拓心、自立心のある、よい意味で

ユニークな素晴らしい学生が来たという経験があります。)

- * わかりやすく、丁寧にご説明いただきよい講演会だったと思います。先生の熱意がよく伝わってきました。共学の工学部では学びにくく感じていた女子学生が、のびのびと自分の力が発揮できるであろう環境を作っていただき、研究に励むことができるのは幸せです。陰ながら期待しております。
- * 工学系の女性が多くなること、そして活躍することを楽しみにしています。
- * 日本のジェンダーギャップ指数も、女子学生の主体性のある向学心から上昇するような気がします。院の開設など色々とお忙しいかと思いますが、宜しく願い致します。
- * 女子大の工学部から育った人材が社会でどのような活躍をしていくのかと将来をとっても楽しみにしています。
- * 工学部というより奈良女子大学に関心を持ったというところから今回の講演に参加させていただきましたが、その他の学部や学校全体の向上にもつながればと思いました。
- * 奈良女子大学で、社会に役立つ立派な学生が育つことを切に願っている。これは工学部にかぎりません。
- * トランスジェンダーの学生の受け入れについて話を聞いてみたかったです。生物学的に男性性でも共学では学びにくい学生もいるのではないかと思います。女子大学工学部が選択肢の一つとしてあると良いのではないかと思います。
- * 最後の教職課程の質問に対して、例えば情報や工業の教職免許が取れるのかどうか？という事に関してお返事をいただきましたかったです。(註：Q&A に講師回答を入れました)
- * 講演者のマスクは外された方がいいと思います。

主催者註：小さな会議室で対面参加者を前にお話しいただくという環境でしたので、感染症予防の観点からマスク着用が必要でした。全方向性マイクを設置していたのですが、対面参加者の発言を十分拾いきれず、分かりにくい所がありましたこととお詫びします。

9. 大学女性協会奈良支部で取り上げてほしい企画やご意見などあればお書きください。

- * 最新の関心事で、とても良かったです。
- * 両極端ですが、既存の文学部に関しての新たな取り組みも知りたいと思います。
- * 工学部のその後、どんな学生が育ったのか、追跡報告があれば参加したいです。また、女性の教授の視点から、女性と工学の可能性について伺いたいです。
- * 支部活動を知ることができて良かったです。今後とも、建設的な企画に期待しています。
- * 会員が奈良支部設立当初の十分の一になりしかも平均年齢も？歳。JAUW の「女性の高等教育の向上」は設立当時は意義があったでしょうが現在の若い女性はどれだけ身近に感じているでしょうか？会員を増やす手立て方法はあるでしょうか？(私は考えつかないので)